



創政クラブ  
倉田博之議員

**中高年の社会貢献意欲は大きな資源!!  
活用で生きがい創出**

問日本の中高年は、社会貢献意欲が旺盛で「生きがい」をコミュニケーションに求めているデータがある。高山でも同様の調査結果があり、その存在は大きな資源。高い敷居や体の不安を感じている中高年をも貢献活動に多く取り込めれば、社会にも本人にも大変有効。中高年に特化した気軽な入口のマッチング制度はできないか。

答市も同様の考え。類々の制度は市や福祉協議会にあるが、主旨の取り組みには関係機関とも議論を深める。

**犯罪被害者支援条例**

問高山では毎年300件以上の刑法犯罪と数件の凶悪犯罪が発生している。犯罪被害者や

家族は、その直接的被害のみならず、後の生活でも著しい困難を被る。全国の自治体で支援条例を策定し国の救済制度を補っているが、市の取り組みは。

答現行は既存の施策で対応。条例制定は県警からの要請もあるが課題も多い。見舞金などを県内で統一制度化できないか検討中。

**住民目線で初期消火ボックスの配置を**

問初期消火ボックスは一部地域で不足や遠慮な状況がある。設置において利便性や防災力より、市の事務的基準が優先されているのは改めるべきだ。

答基準は維持しつつ町内会や自主防と協議し適正配置を考える。



創政クラブ  
車戸明良議員

**國島市政3期目のまちづくりの方向性は**

國島市政3期目は将来の姿をどう考え、描きま

ちづくりを進めるのか

問公約は「住みやすいまち」「活力あるまち」「自立したまち」を掲げて施策を取り組むとしている。その基盤を考えると、将来世代をも睨んだ方向性は。

答人口減少、不確実な実勢が予測される中、「人」という視点が重要。地域に根ざした市民を視点に、市民生活の向上、地域経済の安定、持続可能な行政運営を主要な柱とした。未来に負の財産を残さないこと。そして、未来への投資となる施策を先行することを念頭においている。

問飛驒地域のリーダーとして、地方都市の牽

引役など役割は大きい。大都市と対峙する地方の将来ビジョンは。

答グローバル化が進む中、各都市は地球規模でそれぞれがしのぎを削っている時代にはいつている。その中で高山市としては、一歩先を行き、将来の布石を打つ取り組みが必要。他の市町村と連携をして進める。

問来年から施行される森林環境譲与税の活用は。林業の産業化を期待できるのか

答年間7千2百万円を活用できる。森林施策を進めるには境界明確化が必要、そこから始める。平成45年には2億円以上となり、森林環境を守りながら林業の活性化を目指す。



創政クラブ  
水門義昭議員

**市長選挙での國島市長の公約**

子育て支援策の強化  
に對しての具体策は

問子育て世代の医療費軽減とは。

答病気や障害で高度な医療を受けるために遠隔地へ通院する子どもを対象に、補助を検討している。移動や宿泊に多額の費用がかかっている。まずはその支援を手掛けていきたい。

**教育環境の整備の具体的な方向性は**

問熱中症での痛ましい事故が発生したが、学校の教室等へのエアコンの設置の考えは。

答気象環境の変化等に伴い必要となっていることから、早いうちに段階的に設置するよう検討している。地元の関係業界の方々との情

報も勘案して進めていきたい。

医療・福祉政策の強化への具体的な方向性は

問市民の不安となっている飛驒地域の医師確保に向けた具体策は。

答岐阜大学医学部地域枠に出身市町村内の医療機関に一定期間勤務を義務付ける「地域医療コース」が新たに設置される。将来の医師確保が期待できることから、その枠組みに参加したい。修学資金についても従来の修学資金貸与制度の貸与額に上乗せ分が加算され貸与される。上乗せ分の費用は市町村が負担するが、出身市町村が圏域内の医療機関で一定期間勤務すれば返還が免除される。